

特別企画

1 ふしぎワールド

徳島大学大学院社会産業理工学研究部総合技術センター

1-1

目が、頭が騙される！
錯視工作を楽しもう

対象学年：制限なし(幼児可)

1. ねらい

錯視の不思議を楽しみながら、その仕組みへの理解や関心を持つことで科学に対する興味を深めてもらいます。今回は「変身立体」「フットステップ錯視」「錯視コマ」を工作してもらいます。身の回りにも錯視を利用した芸術作品や建造物などがたくさんあるので、ぜひ探してみてください。

2. 錯視とは？

錯視とは、「目の錯覚」のことで、目で見たものが実際とは異なる大きさや色に見えたり、平行なものが傾いて見えたり、止まっているものが動いて見えたりする現象のことをいいます。目で見た情報は脳へ送られ、視覚野というところで処理されます。多くの錯視はこの処理の過程で起こると考えられています。

3. つくりかた

画用紙やビニールテープ、カラーペンなどを使って、3種類の錯視工作を楽しんでみましょう。

4. わかること

変身立体

杉本幸吉氏が考案し話題になった、鏡に映すと形が変わって見える筒状の立体です。鏡に映すと丸い筒が四角い筒に変身します。

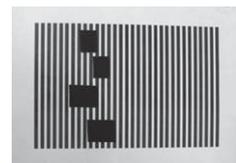
変身立体▶



フットステップ錯視

印をコントラストの強いライン模様の上でスライドさせることで交互に動いて見えます。

フットステップ錯視▶

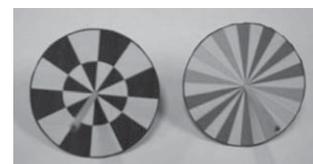


錯視コマ

コマを回すと無い色がみえたり、違う色に変わったりします。

5. その他（体験時間、その他参考事項）

ハサミとつまようじを使うので、ケガに気をつけましょう。



錯視コマ